

◆ 元気なあいさつ 明るい歌声 笑顔あふれる中央中学校

中央中だより

令和2年5月1日発行 第2号
校長 中村 洋一郎
中央中さわやか相談室 3階
相談室 ☎ 2959-9591

3Work (Team・Net・Foot)を大切に中央中の子供たちのために

【今年度の学校教育目標等について】

- | | |
|--------|--|
| 校訓 | 『高く 正しく 強く』 |
| 学校教育目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 意欲をもって学習に励む生徒（知） ・ 豊かな心を持ち、思いやりのある生徒（徳） ・ 心身を鍛え、勤労と体験を重んじる生徒（体） |
| めざす学校像 | 活力に満ち、信頼される学校
～元気なあいさつ、明るい歌声、笑顔あふれる中央中学校～ |
| めざす生徒像 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 自ら考え、正しく判断し、行動できる生徒 ・ 明るく思いやりのある生徒 ・ 心身ともにたくましい生徒 |
| めざす教師像 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 使命感にあふれ、生徒の思いに寄り添える教師 ・ 生徒に範を示し、生徒とともに学び続ける教師 ・ 保護者の願いを理解し、保護者と手を携える教師 |



☆ 真面目に一生懸命に努力する生徒、心根が優しく正しい行動をする生徒が報われるように、教職員が一つになって頑張っていきますので、ご協力よろしくお願いいたします。

臨時休校、5月末日まで延長！

例年であれば今頃は、4月に学級開きをし、新しい担任の先生と新しい学級の仲間でクラスの組織をつくり、授業や給食、委員会活動、清掃活動も軌道に乗り、部活動では1年生は仮入部から本入部を決定して、2・3年生と共に学校総合体育大会に向けて部活動に励んでいる頃ですね。今年は、残念ながら新型コロナウイルス感染拡大防止のための全国的な自粛要請の中、生徒の皆さんも悶々とした日々を過ごしているのだろうと案じております。保護者の皆様におかれましては、お子様以上に心配と不安が募っていることとお察しいたします。狭山市では、埼玉県の要請を受け、臨時休校を5月31日まで再延長することになりました。このような先行き不透明な状況ではありますが、『ピンチはチャンス』という言葉もあります。今回のこのような状況を乗り越えることは、生徒をはじめ我々大人にとっても将来役に立つ可能性が大了。発想を転換して今しかできないことをやってみましょう！先生方も学校再開後に中身の濃い充実した授業が展開できるよう、授業準備・課題づくり・学級開きの準備等々に取り組み、「生徒のために今できることを精一杯やろう」と教職員一同頑張っております。私も「明けない夜はない」と信じて、学校・家庭・地域の連携をこれまで以上に強固にしていきたいと思っております。

6月には学校が再開し、生徒の元気な声が校内に響き、思いっきり学習や部活動に励む姿が戻ってくることを願って、今しばらくご家庭での生活をしっかりと送らせて頂きますようお願いいたします。

5月臨時休校中の登校日及び電話連絡日について

◆ 3密を極力避け、徹底した消毒及び室内の換気に気を配って行います。

《1日目》	《2日目》	《電話連絡》
5月11日(月) 1年生	5月25日(月) 1年生	5月18日(月) 1年生
5月12日(火) 2年生	5月26日(火) 2年生	5月19日(火) 2年生
5月13日(水) 3年生&わかたけ	5月27日(水) 3年生&わかたけ	5月20日(水) 3年生&わかたけ
1組 8:30～ 2組 9:30～ 3組 10:30～ 4組 11:30～ わかたけ 11:30～登校		

《お知らせとお願い》

1. 健康観察について

- 健康観察カードの記入を今後も継続して下さい。子供任せにせず、必ず保護者がお子さんの健康状態を把握し、記入・捺印をお願いします。学校再開後も継続します。検温は必須です！
- 本人及び保護者に少しでも風邪症状があったり、発熱がある場合は登校を控え、学校に連絡を入れて下さい。また、ご家庭の判断で登校を控える場合についても学校に連絡をお願いします。
- 生徒の心理的なストレスも心配しています。相談室等もありますのでお電話ください。

2. 学習について

- 臨時休校延長に伴う学習課題は登校日に渡します。新学年の教科書や教材を使っての学習となります。今回は時間割に沿って学習課題を進める形式にしました。
- 臨時休業中の家庭学習に活用できるサイトの情報及び「保護者の皆様へ」、「各学年の学習課題」を中央中のホームページに掲載しました。ご活用下さい。尚、家庭でネットへの接続が難しい場合は本校 PC 室の利用も考慮しますので、お電話下さい。(3密を避けて使用します)

マスクの寄贈ありがとうございました。

『(略)この状況下で、何かお役に立ちたいという思いから、マスク 1,000 枚を寄付させて頂き、これから未来ある子供たち、そして子供たちを教育指導して下さる校長先生をはじめ、教職員の方々、学校関係者等に配布して頂ければと思います。(略)』という丁寧なお手紙と共に本校の保護者である君島 義仁様よりマスクを 1,000 枚寄付して頂きました。本当にありがとうございました。大切にに使わせて頂きたいと思います。

私は、新聞にある読者からの投稿欄や人生案内を読むのが好きです。同じような年代の方の意見に共感したり、首を傾げたりする。若い世代の方の考えに触れて感心することも多いです。少し古い新聞記事になりますが、中学生の投稿した右の文章に私は非常に感銘を受けました。この中学生は、たった 2 週間の休校生活の中で、学校の本質というか、学校の存在理由を明確に記してくれたと思います。『学校では勉強だけでなく、人との関わりや課題を乗り越える力、生きていくために必要な力も学ぶのだ』まさしくそのとおり！（勉強は学校に来て先生方の熱意溢れる授業にこそ醍醐味を見出してほしいものだが…）この投稿をしてくれた中学生に限らず、中学生って本当に素晴らしい感性を度々見せてくれます。中学生は尊敬するくらい素晴らしい感性を秘めています。中央中生に早く会いたい！

2020年3月20日（金）朝日新聞「声」欄より

中学生 ○○ ○○（東京都14）

新型コロナウイルスによる休校が始まってから2週間超が過ぎた。学校に行けない寂しさはあるものの、私は何不自由なく生活している。それは周りの大人が、なるべく日常生活に支障がないようにと力を尽くして下さっているからだ。例えば勉強は学校からの課題や教科書、それに塾などがネットで無料配信する映像授業なども見ることができる。友人ともメールし合ったり、遊んだり。読書や部活の個人練習など好きなことに充てる時間も生まれた。

学校ですることが家で個人でもできるなら、わざわざ通学する意味は何だろう。今、学校生活と大きく違うのは「嫌いなものに触れなくなった点だ。学校に行けば苦手な人と顔を合わせ、嫌いな教科も学び、時に退屈な時間を過ごすこともある。でもその苦みや雑味も含めた日々は、何ものにも代えがたい味わいがある。好きなものばかりを選び取るのは良くないこと。学校では勉強だけでなく、人との関わりや課題を乗り越える力、生きていくために必要な力も学ぶのだと、休校体験から気付いた。余裕がなく、騒がしくて息苦しいほどのあの日々が愛（いと）おしく、また、今を少し物足りなく思っている。